

堕とされた雌牛

R-18
For Adult Only

さらわれたナンナを追って
冥界に飛び込んだイーノックは、
冥界の王ベリアルに捕らえられてしまう。

そんなイーノックの前に現れたルシフェルは、
彼女を助けようとはせず、
欲望のままに身体を貪ってくる。

「こんなの、おかしい…」
そう考えるイーノックだったが、
ルシフェルから与えられる快樂に
次第に心身が飲まれていく。

—実はそれは、ベリアルが見せる
幻覚だったのだ。

ルシフェルと思っていたそれは
無数の触手悪魔。
イーノックは、冥界の雌牛として
墮とされていく……………

EL Shaddai FANBOOK

Lucifel*Enoch ♀

Berial*Enoch ♀

DAIFUKU Presents !

墮とされた雌牛



R-18
For Adult Only ³

ルシフェル×イーノック♀前提の
ベリアル（触手）×イーノック♀です。

ナチュラルにイーノックがよた（先天性）です。
ルシフェルとはすでにらぶらぶです。

上記を踏まえてご覧ください！

クク…
冥界へようこそ、
イーノック…

ベリアル…っ
ナンナを返して…っ

…何のことかな？
私が招いたのは
お前だけだ。

おろろ

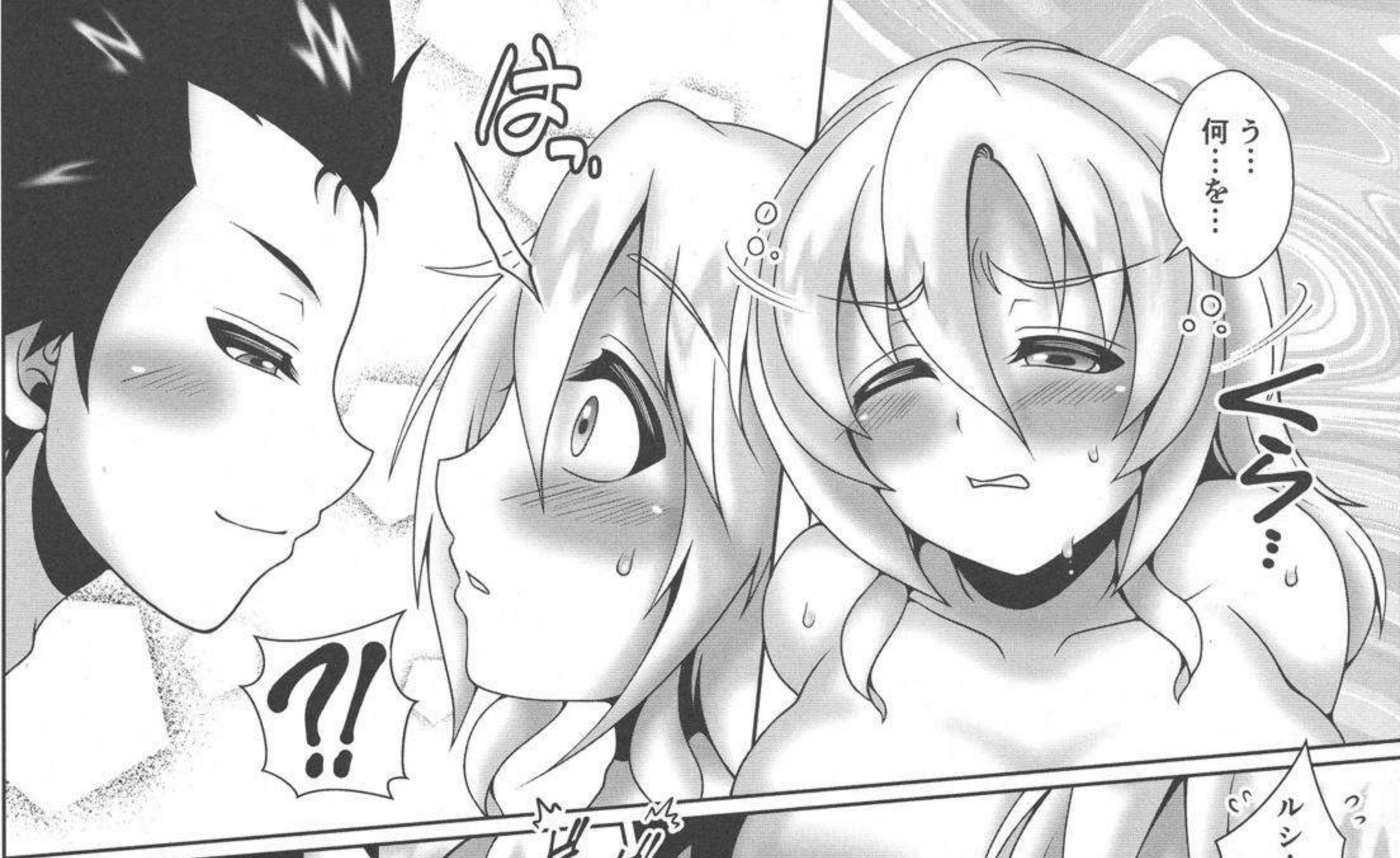
ギチ…

ずっと近くで
お前を見たかった…
まずは歓迎を
受けてもらおうか。

ふわ…

ズン…

ズン…



う…
何…を…

はっ

?!

ん…



ルシ…っんうっ

んっ

ぶっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ



ルシフェル…?
どうしたの…
早く助けて…っ

どうして…
こんな状況なのに…
口づけされたら…
身体…が…熱…い…

エクト…



えっ…

…イーノックは
私が嫌なのか？

ははは

ドキッ



んあ

そ…
そんなことは…
ない…けど…っ

ふふ、そうか。
安心したよ。

ちゅ

ちゅ♡

ルシフェル…？
どうしたの…
今は、こんなこと
してる場合じゃ…

あれ…変…だよ…
なんで…わたし…
裸に…されて…

ぷるぷる

は…は…

あ…

仕方のない子だ…
キスだけで
こんなにびしょ濡れに
して…

ずる…

あつ、
待っ…ッ
あつ

ぐわん
ぐわん

急に、
激し…ッ
ぐわん

ぐわん
ぐわん

ぐわん
ぐわん

ぐわん
ぐわん

ぐわん
ぐわん

ほら…
入れるぞ、
イーノック…。

あ…ゆ…
ゆっくりい…

ぷるる…

ルシフェル…
こんなに…おっきく
なってる…
わたしの…せい…？

びくびくしてて…
アツいの…
挿入って…
きちやう…っ

は…は…

あ…あ…あ…

あ…あ…あ…

え...うそ...
そんな...

んむううう?!

ルシフェルが...
二人...?!

わたし...
二人のルシフェルに
貫かれちゃってる...
の...?

びやうい

たふふい

がが

がが

こんなの...
おかしいよお...
それなのに...
どうして...?

カラダが...
きもちよくて...
もう...何も...
わからなく...
なっっちゃ...う...

はは…
天界の使者も…
心を暴かれるのには
耐性が無かった
ようだ。

気分はどうだ？
イーノック。
甘い声で啼いて…
幸せな幻を
見ているようだな。

今見ている幻は…
お前自身が心の中で
望んでいた事を
私がほんの少し
膨らませてやった
ものなんだぞ？

ぬるぬる

ぬるぬる

んむんむ

ぬるぬる

ん？尻穴が物足りなさそうにヒクついているな。

んむんむ

んむんむ

んむんむ

そら、くれてやろう。天界の使者はとんだ欲張りの淫乱だったんだな。

んむんむ

んむんむ



わたし……あれ……
何じてたんだっけ……

……あ……そうだ……
ルシフェルに……
ご奉仕
してたんだ……



んんん

んんん

こしゅ
こしゅ

んんん

んんん

こしゅ

んんん

イーノック……
そう、もつと
舌を這わせて……

んんん
んんん

んんん
んんん

わたしが……ここまで
がんばってこられたのは……
ルシフェルのサポートの
おかげだから……
わたしの……カラダぜんぶで
お返しするの……

んんん
んんん
んんん

ああ、上手だよ
イーノック……

ルシフェル……？変だな……
どうしてたくさん
いるのかな……？
わからないけど……
全員……きもちよくして
あげたい……



ふあふあふあ
びしょびしょ

ああ…こんなに…
いっばい
出してくれて…
ぜんぶ…
飲み干さないと…

びしょびしょ

ほら、まだ
休んでいる
場合じゃないぞ。
こっちも頼むよ。

ああ…あ…

秘所も…おしりも…
ルシフェルのが…
あふれちゃって…る…
わたしのカラダ…
役に立てて…嬉しい…

びしょびしょ

びしょびしょ

あ…ふあ…
ふあ…



ふはは、いい格好だ
 まるで家畜の
 ようじゃないか。
 盛りのついた雌牛の乳は
 しっかり搾って
 やらないとな。



そうだ、堕ちて
 冥界のものとなれ
 イーノック……！

ぬる

ぬる

—ふふ、その後
調子はどうかかな？
イーノック…。

これはこれは。
申し分のないミルクだ。
それにその姿…
もうすっかり冥界の
雌牛として馴染んで
くれたようだな。

ああ、最高に
淫猥で綺麗だよ。
これから毎日全身の穴に
種付けをして、乳を
搾って…永久に
可愛がってあげよう。

お疲れ様でした！
複数のルシフェルに弄ばれるイーノックが描きたいなと
考えていたら浮かんだ幻覚触手のお話でした。

今回は雌牛墮ちENDでしたが、墮とされてからの
らぶらぶお清め大好きなので
来年あたり続編を描くと思います。

ダークイーノックは角もあるし
おっばいおおきいし雌牛ちゃんみがありますよね

ではまた次回の本にて！

しょうき

「墮とされた雌牛」
2018/11/03
発行：大福
しょうき

mail:sntk_snzkyahoo.co.jp
twitter:s11226
pixivID:1011213

印刷：PICO様

無断転載、WEBへのアップロードを禁じます。
原作とは一切関係ありません。